

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度 第 1 回 目黒区環境審議会
日 時	令和 6 年 9 月 26 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
会 場	目黒区総合庁舎本館 2 階 大会議室
出 席 者	委員）前田委員、成田委員、木村委員、坂元委員、武藤委員、細貝委員、 比護委員、小林委員、古賀委員、岩富委員、工藤委員、原委員、 篠塚委員、林委員、吉岡委員 合計 15 名
	区職員）環境清掃部長、環境保全課長、清掃リサイクル課長、清掃事務所長 合計 4 名
傍 聴 者	0 名
配 付 資 料	（事前送付） 資料 1 「令和 6 年度版めぐろの環境（環境報告書）」の発行について 資料 2 喫煙所の整備について 資料 3 目黒区エコプラザの機能強化に係る進捗状況について 資料 4 電気自動車によるカーシェアリング事業の本格導入について 資料 5 気候変動適応法改正に伴う区の対応について 資料 6 令和 6 年度住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について 資料 7 食品ロス削減に向けた連携協定の締結及び利用状況について 資料 8 製品プラスチックの資源回収開始に伴うプラスチック回収状況について 資料 9 古着・古布の資源回収事業の開始について 参考資料 令和 6 年度版めぐろの環境（環境報告書）概要版 （机上配布） 資料番号なし 目黒区環境審議会委員名簿・座席表 資料番号なし 会議の公開等の取扱いについて 資料番号なし 本日の議事についてのご意見
会 議 次 第	1 開 会 2 議 題 （1）「令和 6 年度版めぐろの環境（環境報告書）」の発行について （2）喫煙所の整備について （3）目黒区エコプラザの機能強化に係る進捗状況について （4）電気自動車によるカーシェアリング事業の本格導入について （5）気候変動適応法改正に伴う区の対応について （6）令和 6 年度住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について （7）食品ロス削減に向けた連携協定の締結及び利用状況について （8）製品プラスチックの資源回収開始に伴うプラスチック回収状況について

	(9) 古着・古布の資源回収事業の開始について 3 その他 4 閉 会
会 議 の 結 果 及 び 主 要 な 発 言	1 開 会 会長の選出まで環境保全課長が進行役を務める。 2 議題 (報告事項) (1) 「令和 6 年度版めぐろの環境（環境報告書）」の発行について (2) 喫煙所の整備について (3) 目黒区エコプラザの機能強化に係る進捗状況について ○事務局 (資料 1～3 に基づき説明を行った。) ○会長 気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。 ○委員 喫煙所の整備について、都立大・中目黒・学芸大学・自由が丘という喫煙所がある場所とそれ以外の場所でポイ捨ての量に差があるか。 ○事務局 現状、清掃委託しているが数値化できていないので見直しているところである。実感としては区内全体でポイ捨ての量は減少傾向と認識している。 ○委員 緑が丘駅前でポイ捨てが多く対策をしても捨てられてしまうが、緑が丘周辺における喫煙所の整備検討状況はどうか。 ○事務局 区内及び区に隣接する駅の周辺には喫煙所を設置していけたらと思っている。区民から寄せられる声の中には「駅前だけではない」というものもあるので、区内全域に広げていけたらよいが、数や時期の断言はできない状況。民間事業者にお願いしている喫煙所は店舗の移設や閉店とともになくなってしまう側面もあり、常に新たな喫煙所の整備を念頭に置いて、地域の皆様の力を借りて検討していきたい。 ○委員 ①令和 6 年度版めぐろの環境の 4 ページ「ものを大切にする」における、めぐろ買い物ルールの認知度の低さが気になる。目黒区から事業者にどのようなアプローチをしているのか。 ②去年からプラスチックごみの出し方変わったがどのくらい浸透しているか。 ③喫煙所の整備について、主要な駅に目黒駅が入ってくると思うが、喫煙者が多いにも関わらず権之助坂まで下りてくると喫煙所がない状況で禁煙の店舗も増

えてきており、喫煙所を整備する必要性が高いように思うがどうか。

○事務局

①社会情勢の変化に伴い令和6年3月にルール改正しており、改正直後にアンケートを実施したため、詳しい内容までは知らない方が一定数いたものと認識している。新ルールについては、今後PRを積極的に行う必要性を認識しており、区報で大特集を組み、SNSでの発信も強化しているところである。事業者向けの案内としては、講演会の実施や、メールによる周知、職員による店舗訪問など、様々な方法で周知を図っている。

②製品プラスチック回収の開始に先立ち住民説明会の実施や区報への掲載、ゴミ集積所への広報物の貼付等さまざまな手法で周知を図り、順調なスタートを切れたと認識している。このあと清掃事務所から報告を行うが、プラスチック資源の回収量は増えており、分別は進んでいると理解している。製品プラスチックを資源として回収することがどの程度区民に認知されているかについて、詳細調査はしていないが、今述べたような実績から見て、徐々に浸透しているものと推察している。

③目黒駅周辺での喫煙所整備の必要性は認識しており、今年の4月から民間事業者や空き地や駐車場など20か所を超えるさまざまなところに声をかけているものの、なかなか設置の目途が立たない状況。ただ、今年度は先ほど説明したとおり2か所新設しており、引き続き喫煙者と非喫煙者の共存を目指し喫煙所を整備していきたい。

○委員

自由が丘しらかば通り公衆喫煙所について、オープン時刻が朝10時というのは遅いと感じており、通勤時間に開いていると喫煙者が入りやすく、隠れて路上で吸ったりポイ捨てしたりする人が少なくなるのではないかと。また、喫煙所のPRが足りていないのではないかと。

○事務局

自由が丘しらかば通り公衆喫煙所は10時から22時まで開いている。開設時間については、例えば通学路沿いにある喫煙所は通学時間に開設しないといったその地域の事情や近隣の方の意見などを踏まえて個別に決定している。委員のご指摘の内容について同じように感じる部分はあるものの、公衆喫煙所という性格上、多くの方々のご意見を踏まえて現在の開設時間としている状況である。ただ、4月にオープンした喫煙所であり、この運用で確定と考えているわけではないので、地域の方々の声などを踏まえ、見直しを含めて今後の検討事項としていきたい。

PRは区報とウェブサイトで行っている。また「CLUB JT」という日本たばこのウェブサイトで喫煙所の地図案内をしている。引き続き区としても効果的なPR方法について研究・検討していきたい。

○委員

よく聞く声として「朝の通勤時に東急バスを降り、しらかば通りを歩いて駅に向

かうその途中でたばこを吸いたくなる」というものがあるので、協議の場で引き続き時間を早めてもらうよう要望していく。

○事務局

先述のとおり、現在の開設時間で確定というものではないので、今後検討していきたい。引き続きご協力をお願いしたい。

(4) 電気自動車によるカーシェアリング事業の本格導入について

(5) 気候変動適応法改正に伴う区の対応について

(6) 令和 6 年度住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について

○事務局

(資料 4～6 に基づき、説明を行った。)

○会長

気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。

○委員

(質疑なし)

(7) 食品ロス削減に向けた連携協定の締結及び利用状況について

(8) 製品プラスチックの資源回収開始に伴うプラスチック回収状況について

(9) 古着・古布の資源回収事業の開始について

○事務局

(資料 7～9 に基づき、説明を行った。)

○会長

気づいた点や質問があれば発言をお願いしたい。

○委員

製品プラスチックと衣類回収を行っているとのことだが、両者はリサイクル率が低いことでも知られている。

8/15 に不動住区で行われためぐろ衣類回収プロジェクトの様子を 1 日見させてもらったが、参加者も回収した衣類がどうなるのかということに関心を持っていたようだった。今後、区民がプロジェクトに参加するモチベーションにも繋がると思うので、回収したものがどうなったのかをぜひ報告してほしい。

また、参加者の年齢層が高いように思われ、よく住区に来るので持ってきた人、普段は衣類を捨てているが近くで回収してくれるから持ってきたという人も見受けられた。資料を見ると拠点回収による回収量が多いようだが、巡回回収も来年度以降引き続き続けてもらえるとうい。

○事務局

回収した衣類は、別の方に着ていただく「リユース」を原則とし、回収にあたっては状態のよい服の提供をお願いしているところである。一部リユースに向かない

ものはリサイクルしている状況である。めぐろ衣類回収プロジェクトについては、拠点回収と巡回回収の両面から、来年度以降の事業継続について前向きに検討しているところである。

○事務局

続いて、プラスチックの再生状況について、令和 5 年度はケミカルリサイクルを行っていたが、令和 6 年度は入札により引取業者が決まった結果、プラスチック製品に再加工されるマテリアルリサイクル 14.3%でアンモニア等にするケミカルリサイクルが 85.7%となっている。

○委員

衣類のリサイクルについて、違いや流れを教えてほしい。

①目黒区エコプラザでも常設で資源回収として衣類を回収しているが今後も並行して行っていくのか。また、めぐろ衣類回収プロジェクトは清掃リサイクル課、目黒区エコプラザは環境保全課と所管が異なるが、どうリンクさせていくのか。

②回収したものを業者に売ってウエスにするなど売上げはあるのか。区に歳入として入ってくるのか。また、どこの業者に委託しているのか。エコプラザと同じ業者ではないのか。

○事務局

①目黒区エコプラザは従前から衣類回収をしており、区では今年7月から衣類回収を新たに始めたところである。区が事業を開始するにあたり、回収できる衣類やできない衣類の条件がエコプラザと区で同一になるよう意識したので整合性は取れていると認識している。所管が異なる点についてはご指摘のとおりであり、次年度はさらにわかりやすく整理することを検討している。

②今年度は事業開始の年だったので、回収・再生を一括して行ってもらい収入なしで実施したが、来年度は回収・再生として支出はあるものの買い取り代金を収入として納めてもらう予定で調整しているところである。

○会長

その他、全体を通して気づいた点や意見、質問があれば発言をお願いしたい。

○委員

目黒区エコプラザの事業において大学サークルとの連携として早稲田ロドリゲスの名前が挙がっているが、区内に東京大学もあるところでなぜ区外の早稲田ロドリゲスが選択肢に挙がったのか教えてほしい。

○事務局

これまでのエコプラザの活動の中で、東京大学の環境サークルである環境三四郎とは既に連携を行っているところである。今回、新たな連携先として職員が調べて声をかけた中で話を受けてくれたのが早稲田ロドリゲスと学芸大学木育研究所であると聞いている。

○委員

東京大学にも環境サークルがあると思うが、そこにも声をかけたという認識でよいか。

○事務局

正確には、東京大学の環境サークルとは元々関係があったと聞いている。

○委員

その発端は何か。

○事務局

東京大学は区内にキャンパスがあることから早い段階からエコプラザと関係があった。環境サークルである環境三四郎とは長い付き合いであり、今回の報告において東京大学の名は出てこないが継続して連携している。今回は事業の拡大・充実を図るため、インターネットで大学サークルを探してアプローチした中で連携が決まったのが早稲田大学と学芸大学というものである。

○委員

カーシェアリング事業について、資料に区の歳入の記載がないが、区民向けに無料でやっているというものなのか。

○事務局

区が直営しているというよりも、区が事業者に駐車場を貸して事業者がそこで運営をしている事業なので、区としての収益が上がるものではない。

○委員

区は場所を貸しているだけという認識でよいか。

○事務局

認識のとおりだが、経済的な観点で見れば売上はないものの、当該事業により環境保全が推進されているものと理解いただければと思う。

○委員

承知した。

○会長

意見が出尽くしたようであれば質疑を終了としたい。

3 その他

○事務局

今回は、令和 6 年 1 月頃、夜間帯での開催を予定している。詳細は追って連絡する。

4 閉会

○会長

本日の議事について意見や質問があれば、資料番号なし本日の議事についてのご

	意見に記入の上、事務局へ提出していただきたい。 事務局への確認となるが、締切は記載のとおり 9 月 30 日（月）で間違いないか。 ○事務局 大変申し訳ないが記載誤りのため 10 月 11 日（金）に訂正させていただきたい。 ○会長 承知した。それでは改めて 10 月 11 日（金）までに提出をお願いしたい。 以上で令和 6 年度第 1 回目黒区環境審議会を閉会する。
--	--

以 上